

JST未来社会創造事業シンポジウム

洪水が災害にならない 社会の実現に向けて



イラスト作者:upkiyak / 出典:Freepik

洪水についての予報は、現在では最大6時間前にしか発表されていませんが、最大39時間前の洪水予測・水位予測の研究・提供が一部で進んでいるほか、洪水予報に関連する気象業務法の改正が本国会で議論されます。

長時間先の洪水予報発表が現実のものとなる近い未来を見据え、現時点における複数の洪水予測技術・水位予測技術の最新情報を紹介するとともに、長時間先の洪水予測によって、自治体業務や民間企業・住民の行動、ひいては社会が、どのように変化していくかについてを探るべく、先行して長時間洪水予測の利活用について検討している長野の地で、シンポジウムを開催します。

令和5年

2023.3.22(水) 13:30~18:00

<https://www.iis.u-tokyo.ac.jp/ja/news/4132/> (東京大学生産技術研究所HP)

聴講
無料

会場

善光寺本坊大勧進 紫雲閣 大広間
+ オンライン(Zoomウェビナーを使用)

対象

研究者・地方自治体・企業等、ご興味のある方々(どなたでも参加いただけます)

申込

事前登録が必要です。下記Forms、または右のQRコードからお申込みください。

<https://forms.office.com/r/LLJkHaUFEA>

申込受付主体: 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)



主催: 東京大学生産技術研究所(JST未来社会創造事業 顕在化する社会課題の解決領域
「地表面水文量予測情報を利用した流域治水の先進的な実践」推進主体)

共催: 長野県、国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学大学院工学研究科、
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

